

# 茶病虫害防除情報

令和5年2月21日

【第11号】

鹿児島県経済連・肥料農薬課

## 主要病虫害の生態と防除シリーズ (9)

### もち病

#### 発生と防除のポイント

本県では発生は少ないが、最近梅雨期の二番茶期に発生がみられることがある。二番茶芽生育期と秋芽生育期に雨天が続き、多湿条件の時に発生する。生育中の柔らかい新葉にのみ感染し、10～14日で典型的なもち状病斑を形成するため摘採葉に病葉が混入し、製茶品質へ影響する。病原菌担孢子は高湿度条件で形成され、飛散し、感染する。

薬剤防除は新芽萌芽～生育初期に行うが、炭疽病などと同時防除がすすめられている。

#### 発生生態

病原菌の種類	糸状菌・担子菌類 (エクハシテウム ベクサス)
発生の状況	山間地・河川流域など局地的発生 被害中
病徴と診断	新葉裏面に餅状に膨らんだ円形の白色病斑を生じる。病斑の表面は光沢のある淡黄色病斑である。古くなった病斑は黒変壊死する。
被害の様子	摘採葉に被害葉が混入すると品質に影響し、多発した病葉混入で商品価値が低下する。 秋芽への多発では、樹勢に影響し、一番茶の収量が低下する。
病原菌の性質	発育適温：16～20℃ 全寄生菌 発育湿度：多湿条件を好み、担孢子形成・飛散・発芽に99%以上の高湿度条件が必要 菌の性質：全寄生菌(生きた作物内でのみ生息) 古くなり黒変壊死した病斑には担孢子は形成されない
伝染方法	越冬：秋期に担孢子が越冬芽に潜入・付着した状態で 発生様式：越冬芽に付着した越冬担孢子→翌春、新芽生育に伴い感染発病 この一番茶病斑から高湿度条件で担孢子が飛散し→二番茶 新芽へ伝染(茶芽潜入)発病→秋まで伝染・発病を繰り返す 伝染：高湿度条件で担孢子が空气中を飛散・伝搬 感染：高湿度条件で担孢子が発芽し、新芽・新葉に侵入・感染
潜伏期間	約10日で初期病斑を生ず
発消生長	主に、二番茶期、秋芽生育期に発生し、冷夏の年は三番茶期にも発生する。
発病条件	新芽生育期に降雨が多く、湿潤な日が続くと多発生する。 山間地、河川流域、山陰の陰湿な場所の茶園で常発するところがある。 窒素質肥料過用など樹勢旺盛園で発生しやすい。 品種と発生：「くらすわ」「するがわせ」「やぶきた」は発生しやすい。

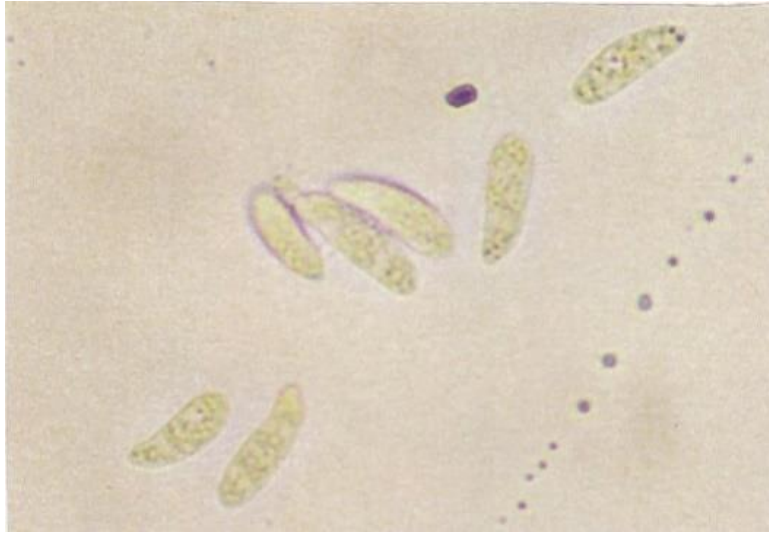
## 防除方法

- 防除のポイント
- ①常発園は、二番茶萌芽～1葉期と秋芽の萌芽～3葉期に薬剤防除する。
  - ②常発園や前年秋多発園では一番茶萌芽前に銅剤を散布し、越冬芽に付着している菌を殺し、防除する。
  - ③窒素肥料の加用を避け、日当たり、通風を良くする。
  - ④本病に対してはDMI剤、銅水和剤の効果が高いので効果的に使用する。

## 具体的防除方法

### 薬剤防除方法

防除時期	農薬名	希釈倍数(倍)	使用基準	備考 注意事項
一番茶期 萌芽前	<b>【銅水和剤】</b>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年秋に多発した園では冬芽に付着した担孢子を殺滅して防除する。</li> <li>・使用基準 14 日剤も使用できる。</li> <li>・銅水和剤は JAS 有機栽培、輸出茶栽培に使用できる。</li> </ul>
	クプロシール <sup>®</sup>	1000	前日 ー	
	クミガード SC	500	前日 ー	
	Zホルター	400～500	7 日前 ー	
	ムッシュホルター	500～1000	7 日前 ー	
二番茶期 萌芽～1 葉期	同上及び			<ul style="list-style-type: none"> <li>・銅水和剤は萌芽期頃が散布適期。</li> <li>・炭疽病と同時防除する。</li> <li>・DMI 剤は新芽生育初期が散布適期。</li> <li>・スコアは米国輸出茶栽培に使用可。</li> </ul>
	ダコニール 1000	700～1000	10 日前 1 回	
	ベフトール水和剤	500～700	7 日前 2 回	
	<b>【DMI 剤】</b>			
	スコア顆粒水和剤	2000	7 日前 2 回	
秋芽生育期 萌芽～1 葉期	ダコニール 1000	700～1000	10 日前 1 回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・炭疽病などと同時防除する。</li> <li>・フロンサイト<sup>®</sup>は米国輸出茶栽培に使用可。</li> <li>・銅水和剤は炭疽病、新梢枯死症に対し効果が低いので留意する。</li> <li>もち病、網もち病に対する防除の際（「あさのか」「くらすわ」など罹病性品種）に選択する。</li> </ul>
	フロンサイト SC	2000	14 日前 1 回	
	ベフトール水和剤	500～700	7 日前 2 回	
	<b>【銅水和剤】</b>			
	クプロシール <sup>®</sup>	1000	前日 ー	
	クミガード SC	500	前日 ー	
	Zホルター	400～500	7 日前 ー	
	ムッシュホルター	500～1000	7 日前 ー	
	コサイト 3000	1000	14 日前 ー	
	サンホルター	500	21 日前 ー	
トイツホルター A	500	14 日前 ー		
フジトール Lフロアブル	500	14 日前 ー		
秋芽生育期 2～4 葉期	<b>【DMI 剤】</b>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・萌芽～1 葉期散布から 12 日後頃に散布する。</li> <li>・米国輸出茶栽培に使用できる。</li> </ul>
	オンリーワンフロアブル	2000～3000	7 日前 2 回	
	インダールフロアブル	5000	7 日前 2 回	
	スコア顆粒水和剤	2000	7 日前 2 回	〃



もち病菌 担孢子 (多湿条件で形成・飛散)



もち病 葉表の病斑



葉裏の病斑 (ここに担孢子を形成)



もち病 (かなり多発状態の発生園)